

全力疾走！

令和元年7月15日発行 VOL.50 発行者 宮城県議会議員 庄田圭佑

第368回定例会閉会！相沢新議長就任！

皆さんこんにちは。宮城県議会議員の庄田圭佑（しょうだけいすけ）です。6月18日から7月3日の日程で、第368回定例会が開会されました。

今議会は、補正予算議案がなく、新天皇ご即位に伴う賀詞を含め、予算外議案（10月の消費増税にともなう県手数料改正が主）・人事議案等35カ件が上程され、原案可決となりました。また、意見書（右下参照）については2件採択されました。

他にも、佐藤光樹前議長の塩釜市長選挙出馬に伴い議長を辞任し、後任には相沢光哉議員が就任。11月12日の任期満了まで務めることとなりました。

さて、私は一般質問に立ちました。今回は、社会保障費の伸び抑制を意図し、県民が抱える健康課題（メタボ、食塩摂取過剰、歩かない、脳血管疾患が多い等）の解決に向けた、みやぎ健民づくりについて質問しました。具体的には、ウォーキングアプリの機能強化、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の積極活用、健康経営・オフィスの推進、医療費適正化等です。執行部からは「今後の研究課題、これまで以上の普及啓発に努める」という答弁で憤りを感じましたが、RPAは「8月から実証事業を実施し、来年度以降の本格的な導入を考えている」といった一定の回答も得るに至りました。

また、不登校・ひきこもり支援についても質問致しました。我が県の**全国ワースト1位の不登校出現率**は、震災の影響もあるという国の判断から、手厚い財政支援をうけて事業が実施されています。しかし、震災復興期間後の財源措置が示されていないため、財源確保の見通し、類似事業の統合による財源確保について質問しました。執行部からは「国に対して強く働きかけつつ、効果的な事業の在り方について見直しを図りながら財源確保にしっかり務める」との答弁でしたので、今後の動向を注視して参ります。

引き続き、県政発展の為に全力疾走して参りますので、皆様から忌憚のないご意見賜れば幸いです。



↑6月26日本会議にて通算13回目となる一般質問に立ち、執行部に鋭く質す！

新議長の紹介



相沢光哉第43代議長
選挙区 仙台市青葉選挙区
所属党派 自由民主党・県民会議
当選回数 7回
任期 令和元年11月12日迄

一般質問内容

- みやぎ健民づくりについて
- 不登校・ひきこもり対策について

宮城県議会議員 庄田圭佑

採択された意見書一覧

1. 東日本大震災からの復興を完遂し次なる巨大災害に対応した防災体制の強化を求める意見書

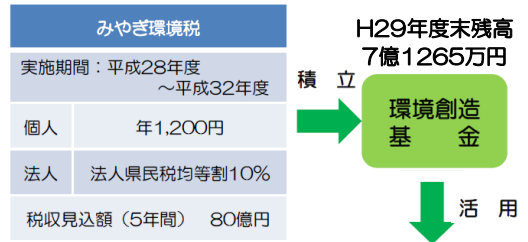
→「防災復興庁(仮称)」の常設や復興完遂に向けた財政支援制度等の創設を求めたもの

2. 地方財政の充実・強化を求める意見書

→自治体が行う各種事業の財源確保等を求めたもの

座談会等頂いた皆様からのご質問にお答えします！

Q. みやぎ環境税の用途について教えてください。
 A. 平成23年4月より、宮城の豊かな環境を適切に保全し、次の世代へ引き継いでいくために、超過課税超過課税である「みやぎ環境税」を導入し、様々な環境課題に対して取り組む財源として活用しています。「みやぎ環境税」基本的な考え方は右図を、具体的な用途については下記をご覧ください。なお、事業詳細は県 HP (<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/kankyouzei4.html>) をご覧ください。※下記は平成29年度の実績見込みです。



◎県実施事業 全51事業 1,466,298千円充当

- 視点1：スマートエネルギー住宅普及促進事業 292,108千円
 燃料電池自動車導入促進事業 37,520千円
 視点2：温暖化防止森林更新推進事業 71,447千円
 県産材利用エコ住宅普及促進事業 276,986千円
 視点3：野生鳥獣適正管理事業 11,998千円
 伊豆沼・内沼よみがえれ在来生物プロジェクト事業12,343千円
 視点4：クリーンエネルギー利活用実践推進事業 11,769千円
 バリ協定温暖化対策強化事業 4,944千円など

◎市町村支援事業 303,645千円

公共施設、学校等におけるCO2削減対策、野生鳥獣対策、照明のLED化、自然環境保全等に対して、県から市町村へ助成しています。

新みやぎグリーン戦略に基づく事業構成		充当見込額（5年間）
県実施事業 (県内全域で広域的に行う事業)	4つの視点に基づく事業	80億円
	視点1 低炭素社会の推進	
	視点2 森林の保全・機能強化	
	視点3 生物多様性・自然環境の保全	
市町村支援事業 (地域に密着した事業、地域課題対応事業)	① メニュー選択型	80億円
	② 市町村提案型	

【5年間の二酸化炭素削減見込額】 約36.4万 t-CO₂
 内訳：県実施事業分 約34.8万 t-CO₂
 市町村支援事業分（メニュー選択型） 約1.6万 t-CO₂

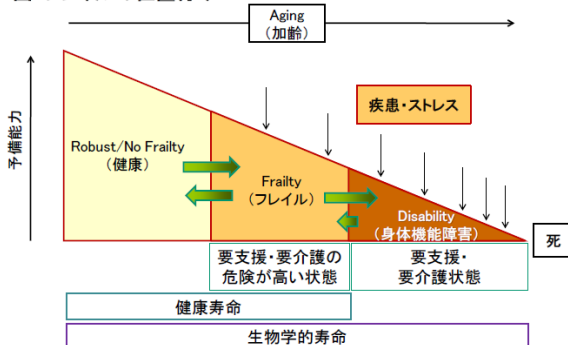
※上記見込額は、平成28年度に実施する事業の平成32年度までの事業量見込から算出したものであり、今後、事業量の変化や新たな事業の追加により変動します。

「新みやぎグリーン戦略プラン(p3)」より引用作成

コラム フレイル

フレイルとは、加齢に伴う様々な機能変化や予備能力低下によって健康障害に対する脆弱性が増加した状態であり、健全な状態と要介護状態の中間の状態を指します。フレイルに陥ると、日常生活で生じる様々なストレスに対処することが難しくなり、生活能力が著しく低下し、死亡率が高まったりすることもあります。フレイルの早期発見やその予防は高齢者が健やかに過ごすために重要です。

図：フレイルの位置付け



図：国立長寿医療研究センター「健康長寿教室テキストp2」より

宮城大学と連携協定締結



議会と宮城大学が相互に協力を行い、地域課題に迅速かつ的確に対応することを目的に、「宮城県議会と公立大学法人宮城大学との協力に関する連携協定」を締結しました。締結式後には、川上理事長・学長の記念講演を開催。

引き続き、産官学金の連携強化に取り組んで参ります。

政務活動等レポート



豊洲市場を視察。一般の方が入場出来ない売り場迄丁寧に視察させていただきました。実に県にぶつけて参ります。



泉区各地で座談会を開催。皆様から頂戴したご意見を確

宮城県政へ一言！！ FAX **050-3737-4421**

氏名 連絡先

**宮城県議会議員
庄田圭佑事務所**

〒981-3213
 仙台市泉区南中山2-2-5
 TEL: 022-342-1041
 FAX: 050-3737-4421

庄田けいすけ 検索

皆様の声をお聞かせ下さい！

